

平成 18 年 2 月期 第 1 四半期財務・業績の概況（非連結）

平成 17 年 6 月 28 日

会社名 株式会社 N a I T O

（ JASDAQ ・ コード番号 : 7624 ）

（ 登記社名 株式会社 内藤 ）

（ URL <http://www.naito.net/> ）

代表者 役 職 名 取締役社長

氏 名 鈴木 齊

問合せ先 責任者役職名 取締役経営企画部長

氏 名 五島 孝之 T E L : (03) 3800 - 8614

1 . 四半期財務情報の作成等に係る事項

会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有

たな卸資産について、実地たな卸を省略しております。

その他影響額が僅少なものについては、一部簡便な方法を採用しております。

最近会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無

2 . 平成 18 年 2 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 17 年 3 月 1 日 ~ 平成 17 年 5 月 31 日）

(1) 経営成績の進捗状況 (百万円未満切捨て表示)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
18年2月期第1四半期	11,737	(-)	278	(-)	383	(-)	456	(-)
17年2月期第1四半期	-		-		-		-	
(参考)17年2月期	39,580		879		1,085		1,250	

	1株当たり四半期(当期)純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
18年2月期第1四半期	94	35	63	76
17年2月期第1四半期	-		-	
(参考)17年2月期	325	31	211	55

(注) 前期において決算期の変更を行ったため前期は平成 16 年 4 月 1 日から平成 17 年 2 月 28 日までの 11 ヶ月決算となっております。また、当該決算期の変更により対象期間が異なるため、前年第 1 四半期実績の記載及び前年第 1 四半期との比較は行っておりません。

(2) 繰越損失の解消

当社は、当第 1 四半期純利益を 4 億 56 百万円計上したことにより、前期末（平成 17 年 2 月期）の繰越損失 4 億 16 百万円を解消することができました。

今後とも、収益重視を基本として売上と利益の拡大を図り更なる事業基盤の強化、財務基盤の強化、並びに経営体質の強化等に取り組み企業価値の向上を目指してまいります。

[経営成績の進捗状況に関する定性的情報等]

当第1四半期における経済環境は、IT(情報技術)分野等の在庫調整が終了しておらず、依然として「踊り場」にあるものの、活発な民間設備投資、自動車産業の堅調、金融システムの安定等により、中長期的な安定成長に向けた素地が整いつつある状況で推移しました。

このような状況の中、当社におきましては、再建計画の数値目標を達成するための重点施策を念頭におき、ユーザーニーズを見据えお客様の視点に立った提案型営業に注力し顧客満足度の最大化を目指した営業活動を展開しました。また全社的に業務の見直しを行い効率性を追求するとともにコスト管理を徹底しました。

これらの結果、売上高は117億37百万円、営業利益は2億78百万円、経常利益は3億83百万円、第1四半期純利益は4億56百万円となり、平成18年2月期の業績予想に対しては順調に推移しております。

(3) 財政状態の変動状況

	総資産	株主資本	株主資本比率	1株当たり株主資本
	百万円	百万円	%	円 銭
18年2月期第1四半期	13,903	4,631	33.3	440 15
17年2月期第1四半期	-	-	-	- -
(参考)17年2月期	13,234	3,921	29.6	370 03

(注) 前期において決算期の変更を行ったため前期は平成16年4月1日から平成17年2月28日までの11ヶ月決算となっております。また、当該決算期の変更により対象期間が異なるため、前年第1四半期実績の記載及び前年第1四半期との比較は行っておりません。

[財政状態の変動状況に関する定性的情報等]

資産合計は、在庫機能拡充のための商品の増加、および手形割引の抑制による受取手形の増加等により、139億3百万円(前事業年度期末比5.1%増)となりました。

負債合計は、在庫拡充による買掛金の増加及び岡谷鋼機株式会社が第一回転換社債型新株予約権付社債の新株予約権を行使したことによる社債の減少等により、92億72百万円(同0.4%減)となりました。

資本合計は、上記社債が資本勘定に振り変わったこと及び当期純利益が増加したことが要因となり、46億31百万円(同18.1%増)となりました。

[業績予想に関する定性的情報等]

3. 平成18年2月期の業績予想 (平成17年3月1日～平成18年2月28日)

	売上高	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円
中間期	22,500	715	685
通期	44,000	1,360	1,300

当第1四半期は、概ね計画通りに推移しており、現時点では平成17年4月6日に公表した中間期及び通期の業績予想に変更はありません。

なお上記予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上

〔添付資料〕

1. (要約) 四半期貸借対照表

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科目	当第1四半期 (平成17.5.31)	前事業年度 (平成17年2月期末)	増減額	科目	当第1四半期 (平成17.5.31)	前事業年度 (平成17年2月期末)	増減額
(資産の部)				(負債の部)			
流動資産	12,208	11,544	663	流動負債	5,536	5,233	302
現金及び預金	1,156	1,351	194	支払手形	383	428	44
受取手形	3,292	2,777	514	買掛金	4,193	3,915	277
売掛金	5,145	5,168	22	1年以内返済予定長期借入金	307	310	2
商品	2,755	2,386	369	未払金	310	297	13
その他	230	298	67	その他	341	282	59
貸倒引当金	372	437	64				
				固定負債	3,736	4,079	342
固定資産	1,695	1,689	5	社債	-	250	250
有形固定資産	235	235	0	長期借入金	2,767	2,842	75
無形固定資産	289	325	35	繰延税金負債	16	14	1
投資その他の資産	1,170	1,128	41	退職給付引当金	737	715	22
投資有価証券	376	372	4	債務保証損失引当金	100	111	10
破産更生債権等	368	368	0	その他	113	144	31
敷金・保証金	770	730	39				
その他	85	93	8	負債合計	9,272	9,312	40
貸倒引当金	425	432	6	(資本の部)			
投資評価引当金	4	4	-	資本金	2,291	2,166	125
				資本剰余金	2,285	2,160	125
				利益剰余金	40	416	456
				その他有価証券評価差額金	24	21	2
				自己株式	10	10	-
				資本合計	4,631	3,921	709
資産合計	13,903	13,234	669	負債及び資本合計	13,903	13,234	669

2.(要約)四半期損益計算書

(単位：百万円、単位未満切り捨て)

科 目	当四半期		前事業年度	
	自 平成 17 年 3 月 1 日 至 平成 17 年 5 月 31 日		自 平成 16 年 4 月 1 日 至 平成 17 年 2 月 28 日	
	金 額	百分比	金 額	百分比
		%		%
売 上 高	11,737	100.0	39,580	100.0
売 上 原 価	10,356	88.2	34,750	87.8
売 上 総 利 益	1,380	11.8	4,829	12.2
販売費及び一般管理費	1,102	9.4	3,950	10.0
営 業 利 益	278	2.4	879	2.2
営 業 外 収 益	239	2.0	827	2.1
営 業 外 費 用	133	1.1	620	1.6
経 常 利 益	383	3.3	1,085	2.7
特 別 利 益	82	0.7	275	0.7
特 別 損 失	0	0.0	68	0.1
税引前四半期(当期)純利益	465	4.0	1,291	3.3
法人税、住民税及び事業税	9	0.1	41	0.1
四半期(当期)純利益	456	3.9	1,250	3.2